

## 令和3年度 後期基本計画「有識者評価会議」の開催結果について

### 1 評価会議の趣旨

後期基本計画に掲げた事業の取組状況や、目標指標の達成状況等を検証するに当たり、より客観性・信頼性を確保するため、市民参画による外部（第三者）評価を実施した。

### 2 開催概要

- (1) 会議日程 令和3年8月下旬に書面会議により開催
- (2) 評価委員 学識経験者、各種団体の代表者及び公募市民 計26人  
(委員長：茨城キリスト教大学 池内耕作教授)
- (3) 評価年度 令和2年度（5か年計画の4年目までの実績に対する評価）

### 3 評価結果等

#### (1) 具体的な検証内容

基本計画の4年目において、掲載した462事業の全てに着手するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、目標指標61項目の5割以上が計画策定時の数値を上回っていることから、「おおむね計画どおりに進捗していると評価」された。

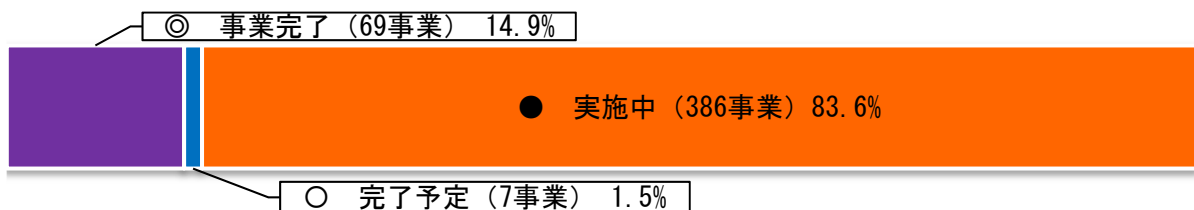
#### (2) 具体的な検証内容

##### ア 計画全体の進捗状況の検証

###### 【進捗状況】

◎ 事業完了	14.9% (69事業)	
○ 完了予定	1.5% (7事業)	※計画期間（令和3年度）までに完了予定
● 実施中	83.6% (386事業)	※実施中には、長期的に継続する事業も含む。
△ 時期未到来	0% (0事業)	

#### 掲載した全ての事業に着手



## イ 目標指標の達成状況

### 【達成状況】

◎ 期待値以上	23.0% (14項目)	実績値が期待値以上を達成
○ 基準値以上	29.5% (18項目)	実績値が基準値(H28)以上を達成
△ 基準値未滿	34.4% (21項目)	実績値が基準値(H28)未滿
— 判断保留	13.1% (8項目)	根拠となる指標が公表されていないなど

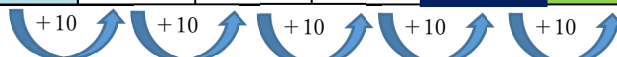
### 約5割の指標が基準値以上

(計画策定時の数値より向上)



### 《期待値について》

	基準値 H28	期待値 H29	期待値 H30	期待値 R元	期待値 R2	目標値 R3
〇〇参加者数(人)	90	100	110	120	130	140



※5年間で50人増加する目標値を設定した場合、定率変化を仮定して上記により期待値を算出。

※令和2年度において、参加者が130人以上であった場合、達成状況は「◎期待値以上」となる。

### (3) 評価委員からの主な意見

#### 【意見】

新型コロナによって進捗に支障が出るのはやむを得ないが、これらをどのようにリカバリーするつもりなのか。

#### 【回答】

対応可能な分野から新しい生活様式を実践し、事業の進捗、目標指標の達成に向けて事業展開している。

引き続き、コロナ感染拡大の動向を注視しながら、適切なタイミングとスピード感を持った現計画のリカバリーとアフターコロナの視点による、次期総合計画策定作業を進めていきたいと考えている。

#### 【意見】

新型コロナウイルスにより市民の生活も大きく変化し、市民の望む日立市も変わってくるのかと考える。コロナ収束後の日立市の創生に向け、引き続きの事業の展開、改善をお願いしたい。

#### 【回答】

現在進めている次期総合計画策定の中で、ニーズの丁寧な把握、反映に努めるとともに、本年度の事業においても、時機を逸することがないように、市民に寄り添った取組を進めていく。

以上